



今月は、おへそがついたかえるが大活躍する、絵巻物風の絵本三部作をご紹介します。

『おへそがえる・ごん1 ぼんこつやまのぼんたとこんたの巻』

『おへそがえる・ごん2 おにのさんぞくやっつけろの巻』

『おへそがえる・ごん3 こしぬけとのさまの巻』

赤羽末吉／さく・え 福音館書店 2020年（1986年刊の再刊） 各¥1400（税別）

<お勧め年齢>

乳幼児★★★ 小低学年★★★ 小中学年★★☆ 小高学年★★☆ 中学生★★☆

高校★★☆ 一般★★☆ （★が多い年齢の子どもにお勧めです）

<本の紹介>

蛙なのにおへそがあり、おへそを押すと口から雲がでてくる主人公の“ごん”は、旅の途中で出会った青年“けん”のお父さんを、一緒に探しに出かけます。途中で仲間になった、手がはえた蛇の“どん”たちと、奇想天外な方法で鬼の山賊などをやっつけていく、楽しい作品です。

著者が“「俺は現代の鳥獣戯画を書くんだ」と家族に宣言し”（※）ていたというエピソードのとおり、シンプルな図案や、ユーモラスで生き生きとしたキャラクターが、横長の装丁と相まって、絵巻物を見ている気分になります。

※：『絵本画家 赤羽末吉』 赤羽茂乃/著 福音館書店(2020年) p491より

<子どもに手渡す時のポイント>

大人も楽しめるので、是非、子どもと一緒に読んでみて下さい。

各巻100ページ超ながら、ひらがなのみで1場面あたりの文章が少なく、絵だけを眺めても楽しめるので、幼児からでも一人で楽しめます。

著者は国際アンデルセン賞画家賞を受賞し、本作は、ライプチヒ図書デザイン展「世界で最も美しい本コンクール」銅賞に輝くなど、日本のみならず、国際的に高く評価されています。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみて下さい。



発行：福岡市教育委員会 総合図書館 図書サービス課

電話：092-852-0639

FAX：092-852-0801